1994年11月8日

安田火災記念財団ニュース

編集発行：安田火災記念財団　〒160東京都新宿区西新宿1-26-1 Tel 03-3349-3550
（担当：熊野）

社会福祉事業

社会福祉選考委員交替

門司洋一郎氏から社会福祉選考委員辞退の申し出があり、後任に安田火災海上保険労働組合執行委員長の浅野修司氏が選ばれました。

一般・ボランティア助成決定

今年度の社会福祉一般・ボランティア助成（公募）が、10月14日の選考委員会で決定しました。当財団の助成は今年で18回目を迎えますが、今年度の申請件数は過去最高の375件にのぼり、例年申請件数の少なかった福島・静岡・福岡県からも多数の申請が寄せられました。このうち、一般助成46件、ボランティア助成７件が選ばれ、総額で4,005万円が助成されることになりました。

会議会合等助成決定

今年度の会議会合等助成（非公募）は次の３件が決定し、総額270万円が助成されることになりました。

①「アジア盲人図書館職員研修」　日本点字図書館　200万円

視覚障害者向けサービスの向上をはかるため、アジア各国の盲人図書館職員を対象に研修を行う。主にパソコン点訳を指導する。

②「障害者の日キャンペーン」　東京都社会福祉協議会　20万円

障害者の日である12月９日に、日頃人前で自分の考えを述べる機会がほとんどない知的障害者を主体にした会議（公開グループ・ワーク）を実施する。

③「第20回日本自殺予防シンポジウム」関西いのちの電話　50万円

いのちの電話では、日本自殺予防学会の協力のもと、毎年各センターがまわりもちでシンポジウムを開いている。

福祉諸科学事業

研究会進行状況

①専門家の責任研究会（主査：帝京大学　川井健教授）

９月２日（第25回）　総論的検討
９月30日（第26回）　最終打ち合わせ
10月10日　私法学会民法部会シンポジウムでの発表

②ディスクロージャー研究会（主査：東京大学　江頭憲治郎教授）

９月９日（第15回）　「契約（商品）内容のディスクロージャー」
東京大学　江頭憲治郎教授

③米国保険法研究会（主査：東京大学　山下友信教授）

９月28日（第11回）　「不慮の事故の定義」立命館大学　竹濱修教授
「保険事故・免責事由」東京大学　山下友信教授

専門家の責任研究会終わる

平成４年４月から開催されていた「専門家の責任」研究会が、10月10日の日本私法学会民法部会シンポジウムでの発表をもって終了しました。研究会メンバーの論文は商事法務研究会発行の『ＮＢＬ』に今年２月から９月まで連載されましたが、これに未発表論文を加えたものが安田火災記念財団叢書No. 44『専門家の民事責任』として刊行されました。商事法務研究会からも同じ内容のものが有料で刊行されています。

ディスクロージャー研究会終わる

平成４年９月から開催されていた「ディスクロージャー」研究会が、９月９日に第15回の会合をもって終了しました。研究成果は安田火災記念財団叢書No. 45『積立保険のディスクロージャーの研究』として刊行される予定で、現在は原稿の取りまとめに入っています。

その他

交通遺児育英会援助金贈呈

当財団では、財団法人交通遺児育英会の推薦する医療・福祉系大学の新入生に、ひとりあたり50万円を自己啓発資金として贈っています。今年度は、推薦された12名のうち８名を迎えて９月30日に安田火災本社ビル４３階で贈呈式を行いました。講義や実習の都合で出席できなかった学生については、安田火災各支店で目録を贈呈しました。

点字講習会

９月中旬から11月末までの週２回、当財団の役職員全員で点字の講習を受けています。講習終了後はパソコンを使った点訳作業に入ります。

以　上